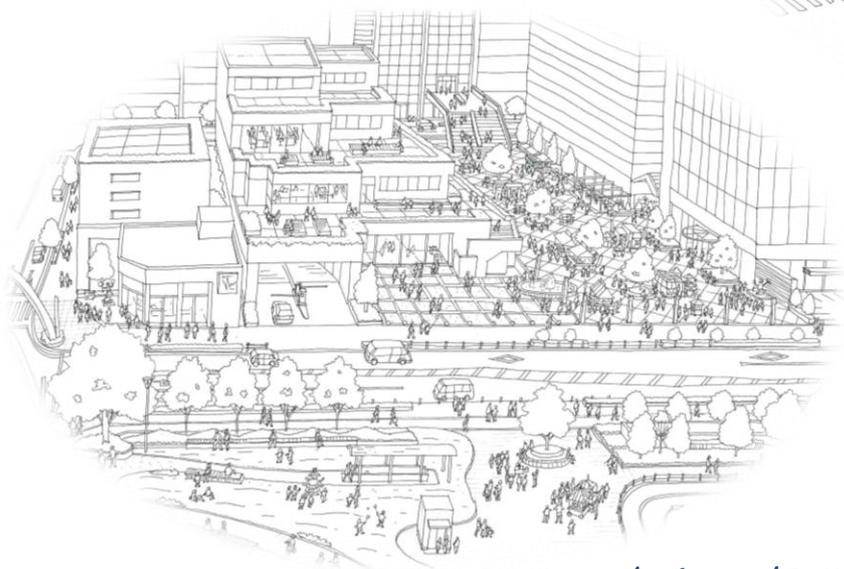


# 小牧市中心市街地グランドデザイン

【概要版】



令和4年3月



キミと一緒に、育っていききたい。  
**Komaki**

# 中心市街地グランドデザインとは

## 1 計画策定の背景と目的

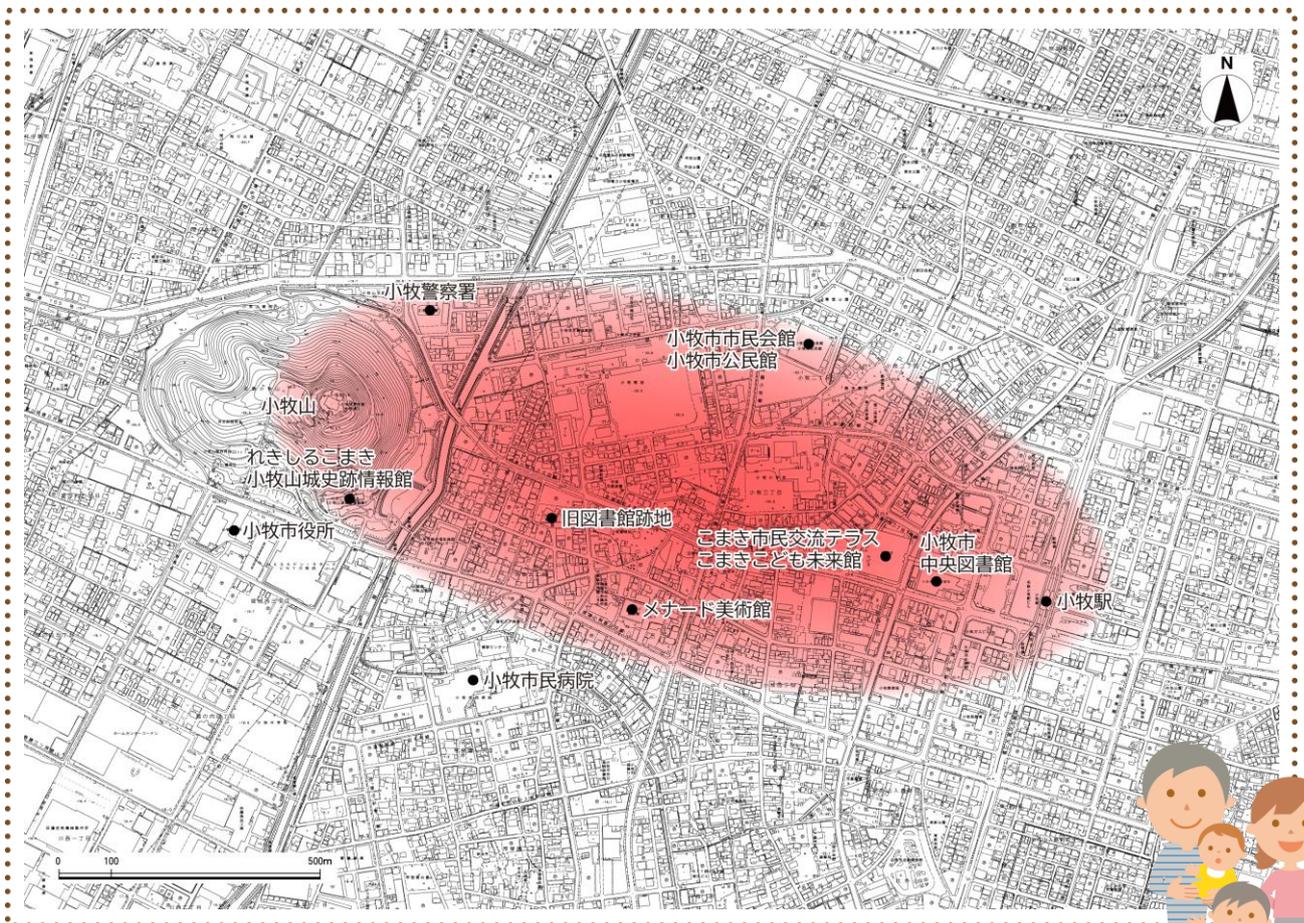
こまきこども未来館（以下「こども未来館」とする。）や小牧市中央図書館（以下「中央図書館」とする。）が整備されたことを契機に中心市街地活性化のリスタートを切ることとし、魅力ある施設や地域資源を活用したまちづくりの推進を図り、中心市街地に訪れる人、住む人が増えることによって活力があるまちなかを目指すため、「小牧市中心市街地グランドデザイン」を策定して中心市街地のまちづくりの方向性を示します。

## 2 計画期間

本計画は、概ね20年後の都市の姿を展望しつつ、概ね10年後である令和14（2032）年を目標年次とします。

## 3 計画の対象範囲

本計画の対象範囲は、小牧市都市計画マスタープランで位置づけられた「中心拠点」のエリアのうち、本市の玄関口である小牧駅や人が集まる拠点となる公共施設、歴史的シンボルである小牧山などを包含するエリアとします。



## まちの将来像

中心市街地グランドデザインにおけるまちの将来像を以下のとおりとします。

小牧山や中心市街地の魅力を活かし歩いて楽しめる活気あるまち  
～歴史・文化を感じながら、にぎわいと交流が生まれるまちへ～

### 将来像の背景



#### ◆小牧山

本市のシンボルとなる代表的なランドマークであり、また、重要な歴史的価値を持つ小牧山を貴重な地域資源として活かす将来の姿を描きます。

#### ◆中心市街地の魅力

こども未来館や中央図書館など人が集まる施設と高い生活利便性を活かし、子育て世代を含めた若い世代にとって魅力のあるまちづくりを推進します。

#### ◆歩いて楽しむ

鉄道の利便性、交通結節点である駅と主要な都市機能がコンパクトに集約された中心市街地のポテンシャルを活かすとともに、低炭素社会の実現や長寿・健康を目指すために、歩いて楽しめる中心市街地の形成を目指します。

#### ◆歴史・文化

中心市街地の歴史・文化資源を活用し、歴史・文化を身近に感じられるまちづくりを目指します。

#### ◆にぎわいと交流

訪れる人、住む人が増えることによりまちのにぎわいは創出されていきます。人々が互いに交流でき、多様な主体によって推進されるまちづくりを目指します。

# 中心市街地グランドデザインの体系

将来像

中心市街地の課題

取組のヒント

目指す姿と取組方針

施策



【まちの将来像】

小牧山や中心市街地の魅力を活かし歩いて楽しめる活気あるまち  
 歴史・文化を感じながら、にぎわいと交流が生まれるまちへ

- ・新旧ふたつの強みを活かすこと
- ・若い世代の定着を図ること
- ・公共交通の利便性を活かしたまちづくり
- ・多様な主体の協働
- ・中心市街地活性化のニーズ、重要性に応えること

中心市街地できるとイイこと

- ◆ 雰囲気のあるシンボルロードにして心象距離が短くなるとイイね
- ◆ 歩道にベンチなどを設置して、飲食や休憩ができるとイイね
- ◆ シンボルロードだけでなく周辺路地でも何か展開ができるとイイね
- ◆ 駅前から小牧山にかけて歴史・文化を活用した魅力創りができるとイイね
- ◆ 気軽に止められる駐車場があるとイイね
- ◆ 市内外の方が楽しめるイベント（マルシェ、まち歩き等）が開催できるとイイね

- ◆ 高度利用につながる再開発しやすい仕組みがあるとイイね
- ◆ 公園や芝生広場のある自由空間ができるとイイね
- ◆ 良好な街並みや小牧山の見える景観が継続されるとイイね
- ◆ 生活に便利な店舗が集積できるとイイね

- ◆ 飲食店などが気軽に新店できる仕組みがあるとイイね
- ◆ 出店希望者と旧商店経営者をつなぐ仕組みがあるとイイね
- ◆ 空き店舗のリノベーションがしやすくなる仕組みがあるとイイね

- ・中央図書館、こども未来館の活用
- ・小牧駅から小牧山にかけて雰囲気のある景観づくり
- ・歴史資源を活用した誘客
- ・近隣店舗や資源への誘導
- ・滞在時間の創出
- ・サイン戦略
- ・一定の商業集積（回遊性）

- ・マンション等の立地促進
- ・居住者に利便性の高いサービスの提供
- ・交通結節点機能の充実
- ・一定の商業集積（選択肢の充実）
- ・公園（みどり）の整備
- ・SNSの有効活用

- ・交通結節点機能の充実
- ・近隣店舗や地域資源への誘導
- ・空き家・空き店舗対策
- ・市民主体によるイベント開催
- ・店舗賃貸借のマッチング体制の構築
- ・起業のための環境整備

**訪れたいまち**  
 地域資源や景観などの魅力を活かし、歩いて楽しむことができるまちづくり

**住みたいまち**  
 都市機能や生活利便性の高い施設が集積し、快適に暮らせることができるまちづくり

**活力があるまち**  
 特色のある店舗等が集積し、新たな発見や出会いがありチャレンジを応援するまちづくり

- 施策1-1 こども未来館・中央図書館等の魅力を活かしたにぎわいの形成
- 施策1-2 歴史・文化資源の活用
- 施策1-3 歩いて楽しい歩道ネットワークの構築

- 施策2-1 まちなか居住の推進
- 施策2-2 緑とやすらぎのあるまちの創造
- 施策2-3 地域で支え合うまちの創出

- 施策3-1 リノベーションまちづくりの推進
- 施策3-2 多様な人が主役となりにぎわいを生み出す環境の創出
- 施策3-3 利便性の高い公共交通ネットワークの充実



# ゾーニング

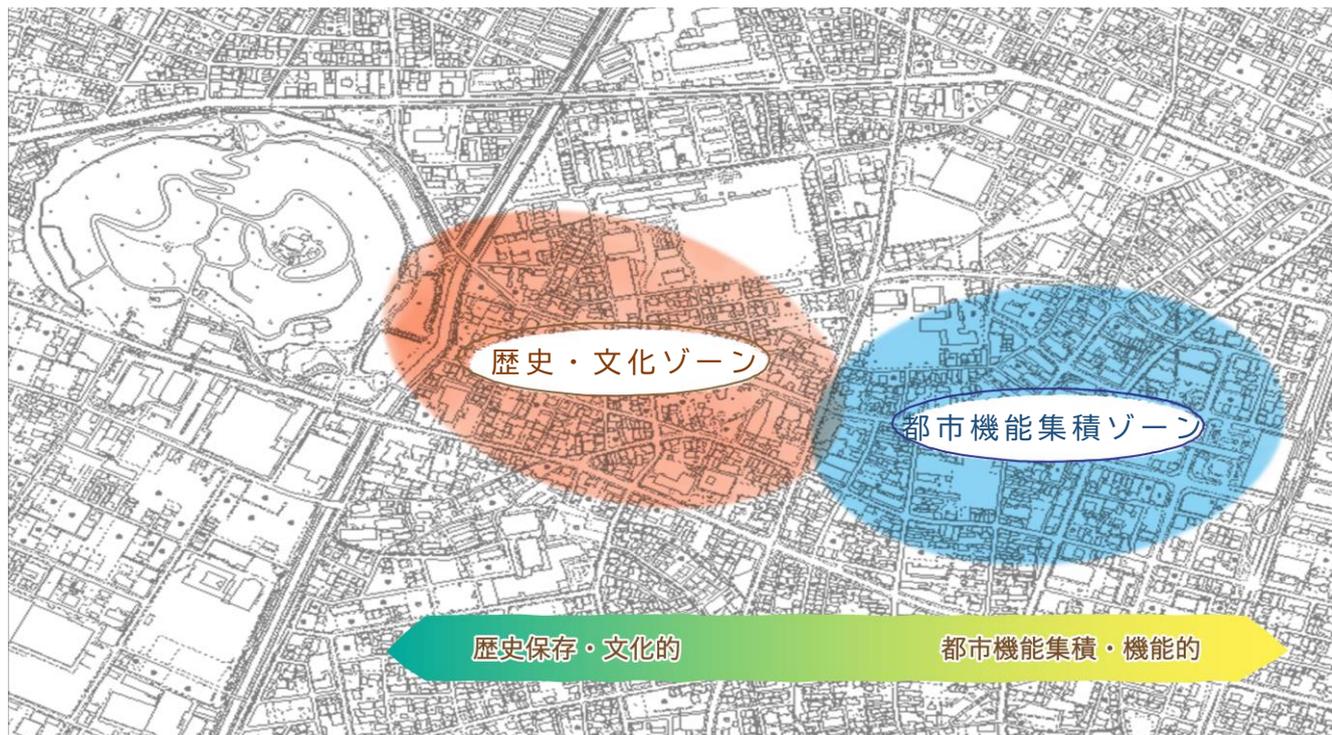
小牧駅周辺に公共施設や大規模商業施設、既存商店街などにぎわいや交流の核となる都市機能が集中し、本市のシンボルである小牧山に近づくにつれて歴史ある社寺が集まり趣のある景観が広がっています。この現状を活かし、ゾーニングして将来イメージを設定することで、利便性の高い市街地としての特性を持ちながら、小牧市ならではの歴史・文化が感じられる中心市街地の形成を目指します。

## 歴史・文化ゾーン

- ・ 散策しやすく地域の歴史や文化を感じるゾーン
- ・ 社寺や緑などが多く落ち着いた景観ゾーン

## 都市機能集積ゾーン

- ・ 駅前にふさわしい商業機能と多世代交流機能が充実するゾーン
- ・ 中高層大型建築物のある都会的な景観ゾーン



# 計画の推進・実現に向けて

## 1 計画の実現に向けた方針・推進体制

中心市街地グランドデザインが目指すまちの将来像の実現に向け、

- 市民・商店・来訪者のまちづくりへの参画や担い手の育成
- 民間活力を活かしたまちづくりの推進
- 情報発信体制の強化

この3つの方針に基づいて個別の事業等を進めることにより、まちづくりを推進していきます。

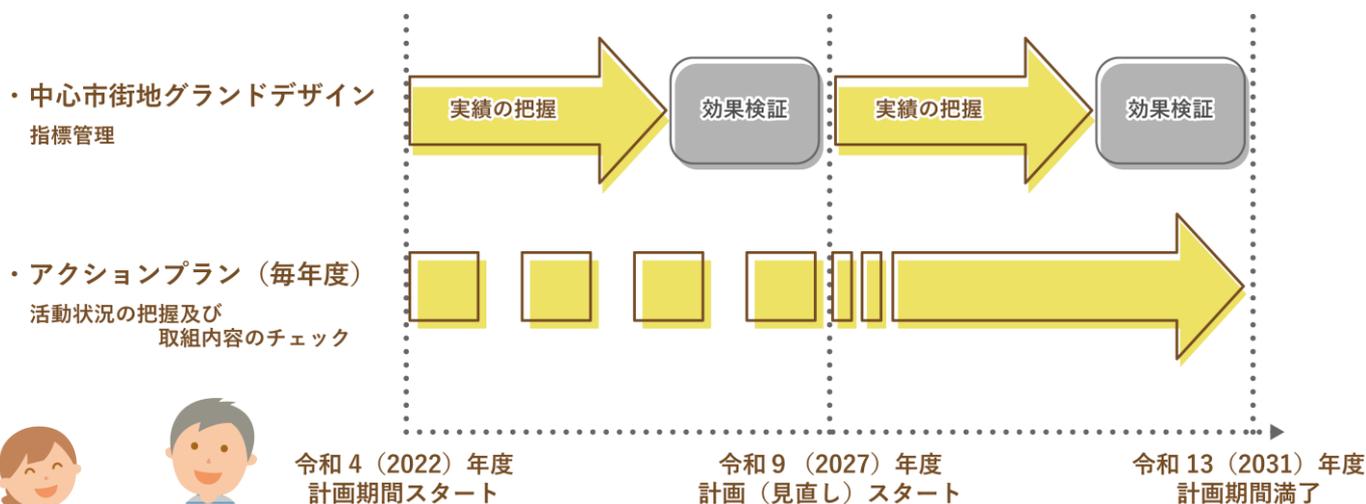
また、市民・商店・来訪者、民間事業者、行政がそれぞれの役割を明確にしたうえで、連携・協働して課題を解決していくための体制・環境を整えます。



## 2 計画の進捗管理

中心市街地グランドデザインの施策に基づく事業の実施計画をアクションプランとして示し、行政内部の関係部署による継続的な連携体制を構築してPlan（計画）、Do（実行）、Check（分析・評価）、Act（改善・改革）のプロセスを踏まえた「PDCAサイクル」により計画の進行管理と事業の改善を行います。

また、3つの“目指す姿”ごとに指標を設定し、その値を定期的に把握することで事業の効果を検証し、計画の見直しを実施していきます。



小牧市中心市街地グランドデザイン【概要版】 令和4年3月発行

発行者 小牧市

編集 小牧市 都市政策部 都市計画課

電話：0568-72-2101（代） FAX：0568-71-1481